

のぞみ会 定例会

2月定例会は見学の方が三人みえました。お話をうかがって、病識のない当事者を医療につなげることや服薬の大切さを理解してもらうことの難しさを感じました。
「家族は支援者にはなれない」という言葉もあります。初期段階での専門職のかかわりがあればと思います。家族が元気になれば、きっと当事者の回復につながります。
のぞみ会で笑顔になれますように。

【活動報告】

- 2/13（土）定例会 14名参加（見学者等3名含む）
- 2/18（木）じんかれんオープンダイアログ巡回学習会 実行委員会
- 3/9（火）地域精神保健福祉会（ほっぷすてっぷ）委員会

【例会報告】

* じんかれん

オープンダイアログ研修を継続予定。
コロナワクチン 県の回答 「精神疾患は優先される基礎疾患ではない」
クラスターの発生などがあり、県精神科病院協会・診療協会から異議を出した。

- * 地域共生支援センター 奥津担当課長（当事者連絡会で6月に話を聞く）
昨年4月 地域共生推進課に設置。今年4月から保健福祉センターに拠点を置く。
役割…相談支援機関を支援する機関（＝後方支援）
制度の隙間にある市民を救う…秦野市版 包括的な相談支援体制

* アンケート…結果は4月定例会で報告

- * のぞみ会会報を作る 8月発行予定
家族会の活動を広く知ってもらうため。

* 朝日新聞記事 回覧

- 3月2日「小中学校で精神疾患を教える」
- 3月3日「若者ケアラーの孤独」
- 3月12日「閉じ込められたのはおじいちゃん？」

* 来年度役員

会計監査 一名必要

- * 定期総会 コロナ対策のため 定員 31名まで
会計監査…4月10日（土）定例会前に行く。
総会役割 司会・議長・書記・受付
講演会 会員家族の参加もOK

* 書面会議

社協 団体部会

障害福祉課 障害者支援委員会

「精神障害にも…構築」の協議の場…今年度はピアサポーターの活動支援

秦野センター 地域精神保健福祉連絡協議会

*一円玉募金 社協に 676 円 (2/15)

*その他

- ・YOU とピア通信 第 2 号
- ・神奈川県公衆衛生学会誌 第 66 号
- ・シルバーリボン運動

統合失調症への理解を求める取り組みとして、1993 年に米国カリフォルニア州で始まる。

その取り組みは年月と共に発展していき、現在では脳や心に起因する疾患（障がい）およびメンタルヘルスへの理解を促進する運動として、脳や心に起因する疾患（障がい）に対する誤解や偏見を和らげ、それらを抱える本人や家族が生活（回復）しやすくなる社会の実現を目指し、世界規模で展開。日本では 2002 年に福島県の浜通り地方（檜葉町）から開始。

首都圏からシルバーリボン運動を普及させる目的で、シルバーリボンキャンペーン横浜（横浜事務局）を設立。

[予定]

3/28 (日)	役員会	福祉センター	13:30~
4/10 (土)	定例会	ぱれっと	13:30~

[お知らせ]

○令和 3 年度 定例会予定 第 2 土曜日 6/12, 7/10, 8/14, 9/11, 10/9, 11/13, 12/11,
R4 年 1/8, 2/12, 3/12

○令和 3 年度定期総会

日時 5 月 8 日 (土) 午後 1 時 20 分から

場所 秦野市保健福祉センター 3 階 第 4 会議室

総会后講演会 「ピアサポーターから学ぶ」(仮題) 14 時 20 分から 16 時

秦野市ピアサポーターから家族との関わり、一人暮らしの工夫などについて伺います。

小耳話

「できる人と、できない人の間には、できるけど疲れる人がいるんだ」

石井あらた『山奥ニートやっています』